

令和5年度 設備設計1級建築士 法適合確認対策コース【日曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（令和5年） 講習時間4.0h

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習 + 各項目の最後に演習テストで、理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備		電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	

●設備設計1級建築士 法適合確認 対策講座（令和5年） 講習時間 35.0h

回数	2月開講日程※1	3月開講日程※1	4月開講日程※1	5月開講日程※1	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	2/26(日)	3/26(日)	4/23(日)	5/28(日)	5.0h	法適合確認1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	出題範囲、教材の特徴、合格するための学習の進め方を理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							換気設備等の法規		居室の換気、火気使用室の換気、冷却塔の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							排煙設備の法規		排煙設備の設置基準、防煙区画、排煙機の風量、特殊な排煙設備、ボイラーの煙突の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							給水設備の法規		飲料水貯水タンク(受水槽)の構造等、配管設備の接続状況等、防火区画の貫通状況等の法適合確認のチェックポイントを理解する	
2	3/26(日)	4/16(日)	5/7(日)	6/4(日)	5.0h	法適合確認2	排水設備の法規	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	排水設備の構造、排水槽、通気管、排水再利用設備の法適合確認のチェックポイントを理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							防災設備の法規1		非常用の照明設備の設置基準、非常用の照明設備の構造、非常用照明器具の配置方法、電源回路の耐熱規制の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							防災設備の法規2		避雷設備、予備電源設備の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規1		輸送設備の基本事項、荷重の算定、構造上主要な支持部分、かごの構造の法適合確認のチェックポイントを理解する	
3	4/23(日)	5/7(日)	5/21(日)	6/11(日)	5.0h	法適合確認3	輸送設備の法規2	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	昇降路の構造、機械室、駆動(制御)装置、安全装置の法適合確認のチェックポイントを理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーターの法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーターの法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーターの法適合確認のチェックポイントを理解する	

問題集解説講義(法適合確認)

—	模擬考査1から 修了考査まで繰り返し学習	6.0h	法適合確認	過年度本試験問題	本試験問題を年度ごとに解説	本試験問題の理解度の向上を図る	—
4	7/9(日)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認4	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬考査の添削 + 宿題課題の添削

オンライン学習会

—	模擬考査1終了後	2.0h	法適合確認	ZOOMを利用した オンライン講義	質問・学習状況について 回答・アドバイス	オンラインで受講生の疑問に対応し、また、各受講生との情報共有により、意識の向上を図る	—
---	----------	------	-------	----------------------	-------------------------	--	---

5	7/16(日)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備)	オリジナル答練問題を用いて、 項目ごとに問題演習 + 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 + 宿題課題の添削
				答練(給排水衛生設備)		制限時間を設けて実戦形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
6	7/23(日)	4.0h	法適合確認6	答練(電気設備)	オリジナル答練問題を用いて、 項目ごとに問題演習 + 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 + 宿題課題の添削
				答練(輸送設備)		制限時間を設けて実戦形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
7	9/10(日)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認7	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 +
8	9/24(日)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認8	模擬考査3	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、直前期に確認すべきチェック箇所について最終確認を行う	模擬考査の添削

※1 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

8月下旬～9月中旬(連続する3日間)  
(公財)建築技術教育普及センター講習受講  
  
10月下旬(予定)  
設備設計1級建築士講習 修了考査

令和5年度 設備設計1級建築士 法適合確認対策コース【水曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（令和5年） 講習時間4.0h

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習 + 各項目の最後に演習テストで、理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備		電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	

●設備設計1級建築士 法適合確認 対策講座（令和5年） 講習時間 35.0h

回数	2月開講日程※1	3月開講日程※1	4月開講日程※1	5月開講日程※1	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	3/1(水)	3/29(水)	4/26(水)	5/31(水)	5.0h	法適合確認1	ガイダンス	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	出題範囲、教材の特徴、合格するための学習の進め方を理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							換気設備等の法規		居室の換気、火気使用室の換気、冷却塔 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							排煙設備の法規		排煙設備の設置基準、防煙区画、排煙機の風量、特殊な排煙設備、ボイラーの煙突 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							給水設備の法規		飲料水貯水タンク(受水槽)の構造等、配管設備の接続状況等、防火区画の貫通状況等 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
2	3/29(水)	4/19(水)	5/10(水)	6/7(水)	5.0h	法適合確認2	排水設備の法規	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	排水設備の構造、排水槽、通気管、排水再利用設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							防災設備の法規1		非常用の照明設備の設置基準、非常用の照明設備の構造、非常用照明器具の配置方法、電源回路の耐熱規制 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							防災設備の法規2		避雷設備、予備電源設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規1		輸送設備の基本事項、荷重の算定、構造上主要な支持部分、かごの構造 の法適合確認のチェックポイントを理解する	
3	4/26(水)	5/10(水)	5/24(水)	6/14(水)	5.0h	法適合確認3	輸送設備の法規2	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 + 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 + 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 + 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	昇降路の構造、機械室、駆動(制御)装置、安全装置 の法適合確認のチェックポイントを理解する	演習テストの添削 + 宿題課題の添削
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーター の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーター の法適合確認のチェックポイントを理解する	
							輸送設備の法規3		非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーター の法適合確認のチェックポイントを理解する	

問題集解説講義(法適合確認)

—	模擬考査1から 修了考査まで繰り返し学習	6.0h	法適合確認	過年度本試験問題	本試験問題を年度ごとに解説	本試験問題の理解度の向上を図る	—
4	7/12(水)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認4	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬考査の添削 + 宿題課題の添削

オンライン学習会

—	模擬考査1終了後	2.0h	法適合確認	ZOOMを利用した オンライン講義	質問・学習状況について 回答・アドバイス	オンラインで受講生の疑問に対応し、また、各受講生との情報共有により、意識の向上を図る	—
---	----------	------	-------	----------------------	-------------------------	--	---

5	7/19(水)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備)	オリジナル答練問題を用いて、 項目ごとに問題演習 + 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 + 宿題課題の添削
				答練(給排水衛生設備)		制限時間を設けて実戦形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
6	7/26(水)	4.0h	法適合確認6	答練(電気設備)	オリジナル答練問題を用いて、 項目ごとに問題演習 + 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 + 宿題課題の添削
				答練(輸送設備)		制限時間を設けて実戦形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
7	9/13(水)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認7	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 +
8	9/27(水)	4.0h (法適合考査2.0h+解説2.0h)	法適合確認8	模擬考査3	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 + 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、直前期に確認すべきチェック箇所について最終確認を行う	模擬考査の添削

※1 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

8月下旬～9月中旬(連続する3日間)  
(公財)建築技術教育普及センター講習受講  
  
10月下旬(予定)  
設備設計1級建築士講習 修了考査